

川底 孝一郎さん

【東京】「悩んだり行き詰まった時に『二冊』を読み直して、前へ進む力でも、自分にとって本は身近な相談相手となった。物流業務のアウトソーシング（業務委託）を手掛ける日本物流開発（東京都板橋区）



（業務委託）を手掛ける日本物流開発（東京都板橋区）

の川底孝一郎社長は、大の読書好きとして知られる人だ。

中でも悩みへの対処法

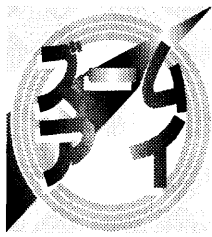
得意先の立場で垂範

世界一信頼される企業に

が書かれている自己啓発書の元祖・デール・カーネギー著の『道は開ける』は折に触れて読み返す。他人から相談を持ち掛け

初めて、同書を読んだのは壁にぶつかっていた20歳前後のころ。将来像が描けず悶々（もんもん）としている時に読み、文

を読むと「自分はそこまでできない」との思いがあったが「最近では、できることをできる範囲で



やればよいと思えるようになった」と。日本物流開発は、川底氏が1990年に起業した会社で、現在、関東圏に物流センターを配置し、物流業務のアウトソーシングを幅広く受託。「世界一信頼される物流企業になる」を経営目標とし、得意先の立場に立った品質提供、提案、情報提供を率先垂範し、業績拡大を確かなものにしていく。（佐藤 学）

られた時には必ず手持ちの『道は開ける』を呈呈するため、何度買い直したか覚えていないという。やろう」と前向きになっ

字通り「道が開ける」思いを体感。「悩むよりも今できることを一生懸命か覚えていないという。やろう」と前向きになっ

時にも読み返し、思いや決意を新たにしたい。日常、読書を欠かすこととはない。昔は伝記小説